

電子メールソフトのセキュリティ設定について

第 2 分冊

- Mail.app の設定

一般社団法人JPCERT コーディネーションセンター
2011 年 2 月 1 日

本資料は、一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンターのウェブサイトにて公開している「電子メールのセキュリティ設定」をPDFファイルにまとめたものです。最新の情報に関しては、以下の URL を参照してください。

一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター
電子メールソフトのセキュリティ設定について
<https://www.jpcert.or.jp/magazine/security/mail/index.html>

4 代表的な電子メールソフトの設定方法

4.1 Mail.app の設定

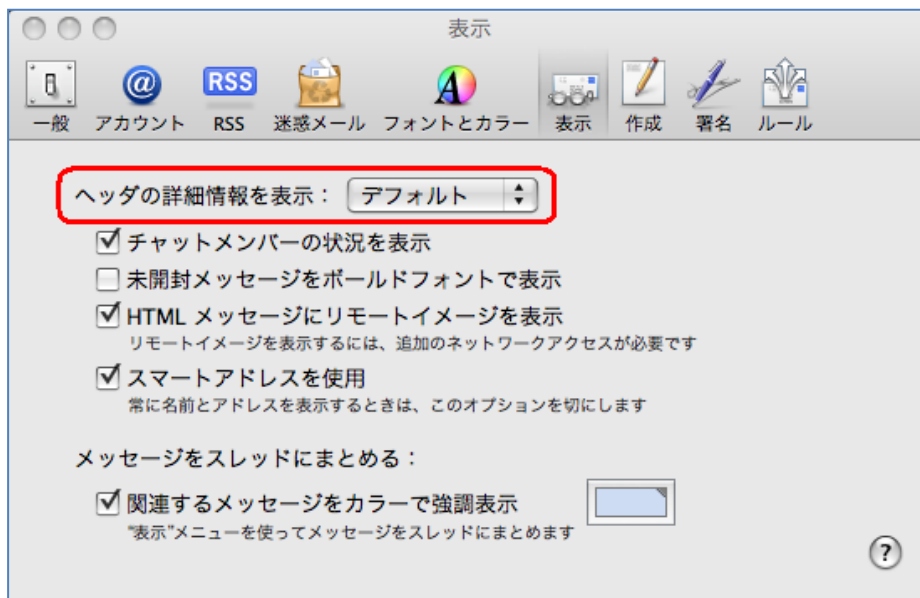
4.1.1 各設定

Apple Mail.app は、全ての設定を「環境設定」から行う事ができます。
「環境設定」ウインドウは、以下の操作により開くことが可能です。

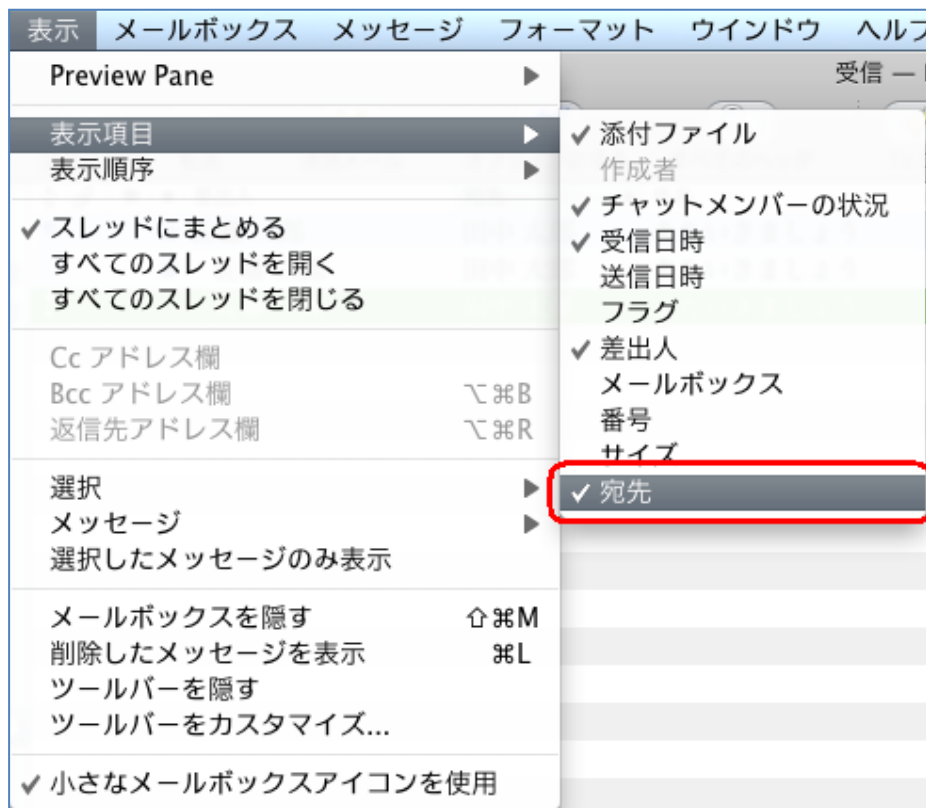
- Mail.app が起動かつ選択状態にある場合、最上部のメニューバーの「Mail」をクリックし、環境設定を選択する。

受信メール一覧で表示される情報の拡張

- 「環境設定」ウインドウから「表示」を選択し、「ヘッダの詳細表示」プルダウンメニューが「デフォルト」であることを確認する。



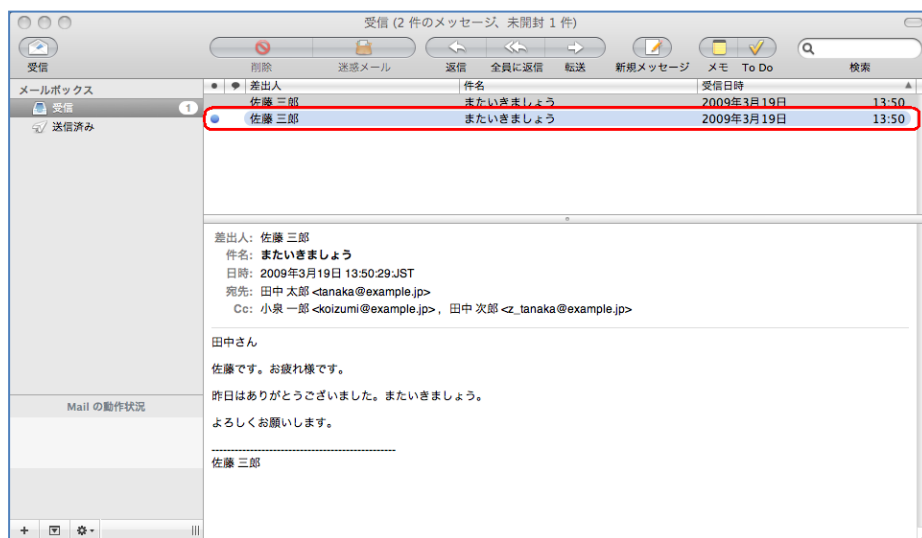
- Mail.app のメニューバーから「表示」を選択し、「表示項目」の「宛先」を有効にする。



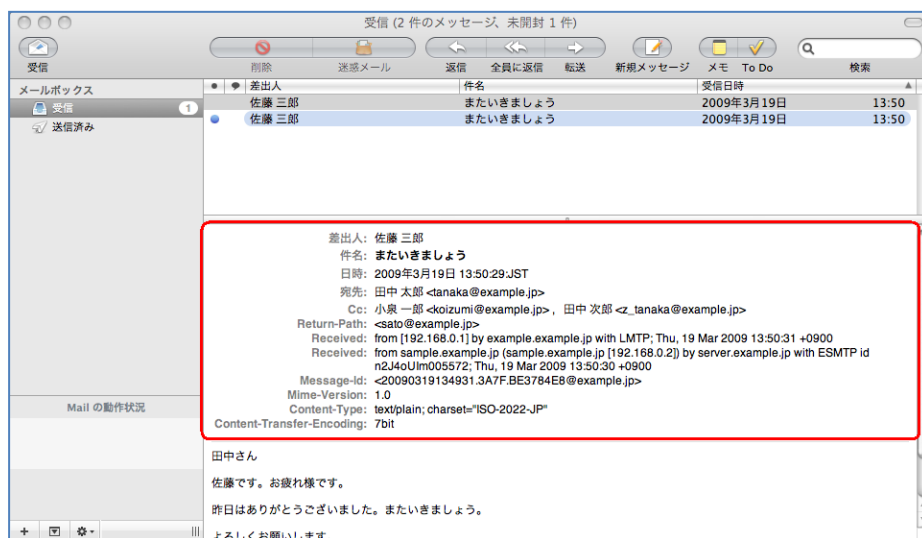
※この画像は Apple Mail.app 4.2(1077) で取得しています。

メールヘッダ情報の確認方法

- メールを選択する。



- メニューバーの「表示」から「メッセージ」を選択し、「全てのヘッダ」を選択する。

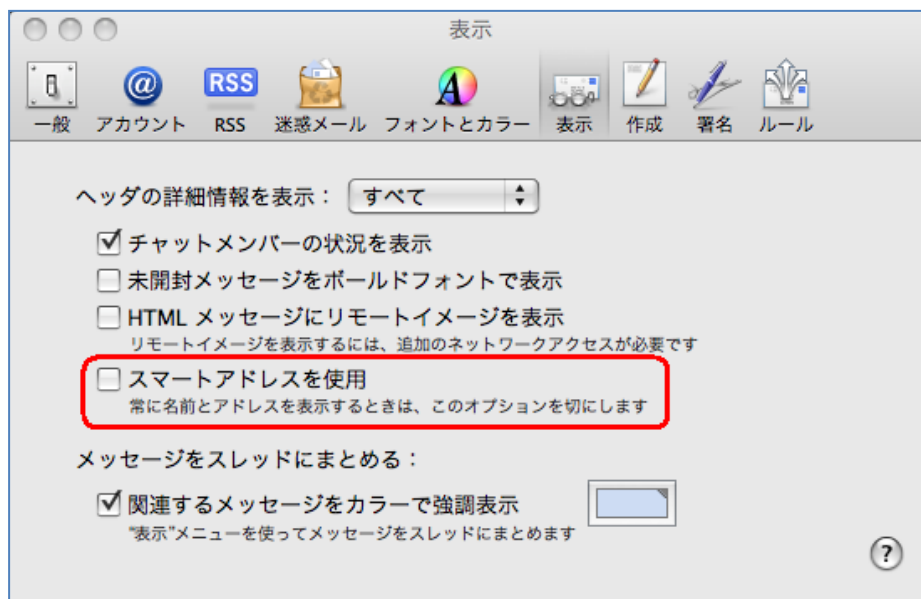


メールアドレスの表示形式の設定

- 「環境設定」 ウィンドウから「表示」を選択する。

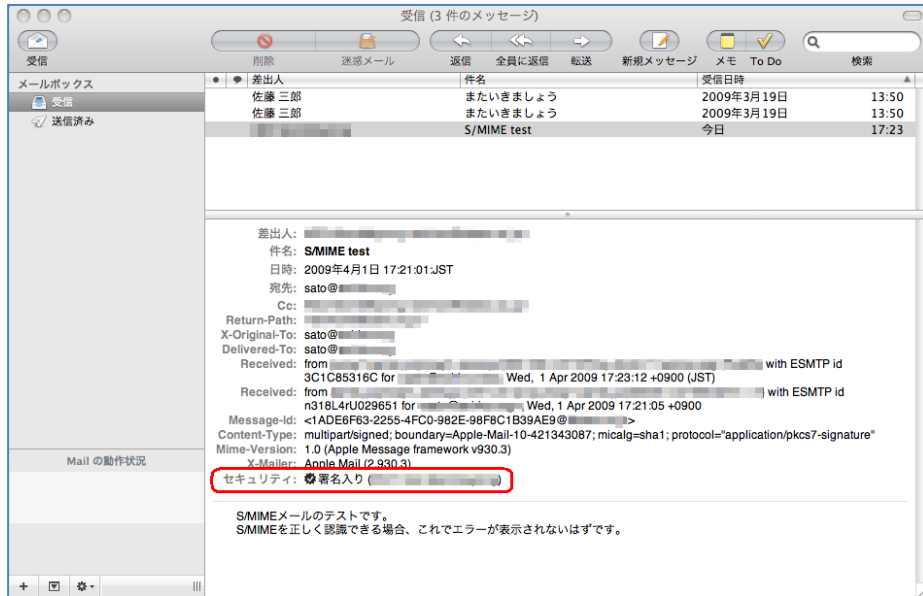


- 「スマートアドレスを使用」のチェックを外す。

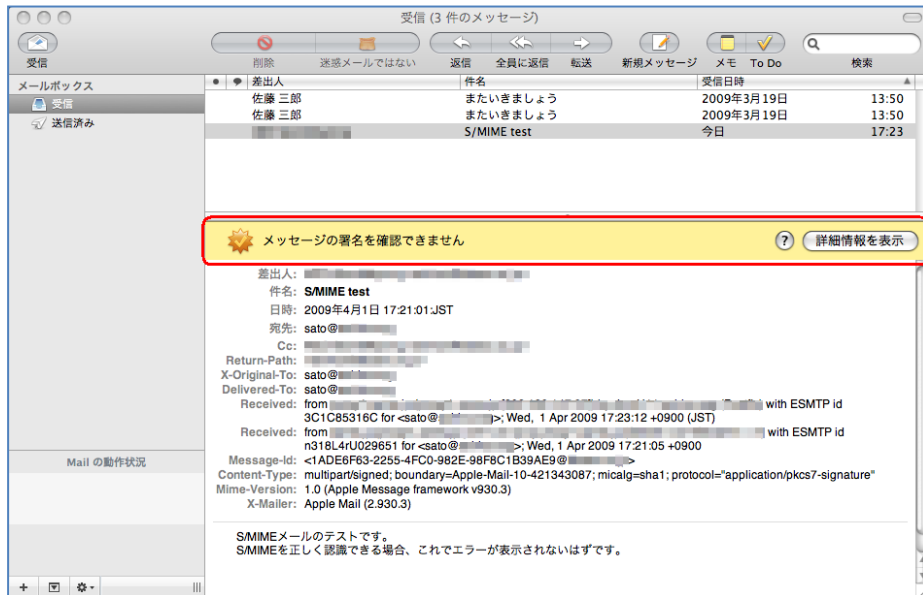


S/MIME による署名メールの表示例

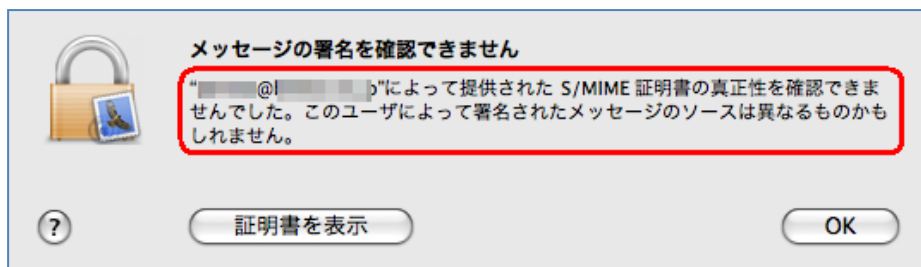
- S/MIME で署名されたメッセージが問題なく検証された場合
メールヘッダ部分に「セキュリティ: 署名入り」と表示される。



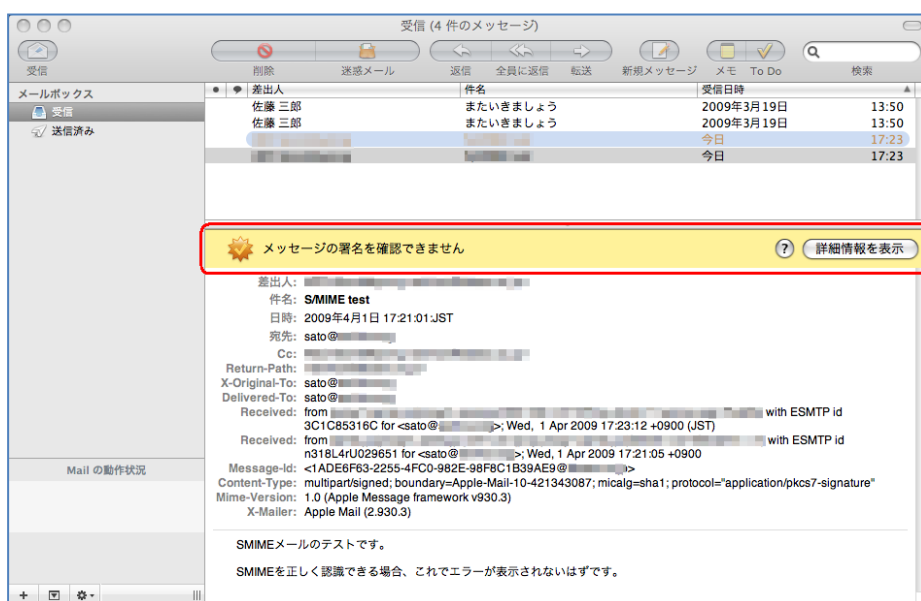
- S/MIME で署名されたメッセージの証明書が検証できない場合
メール本文の最上部に、「メッセージの署名を確認できません」と表示される。



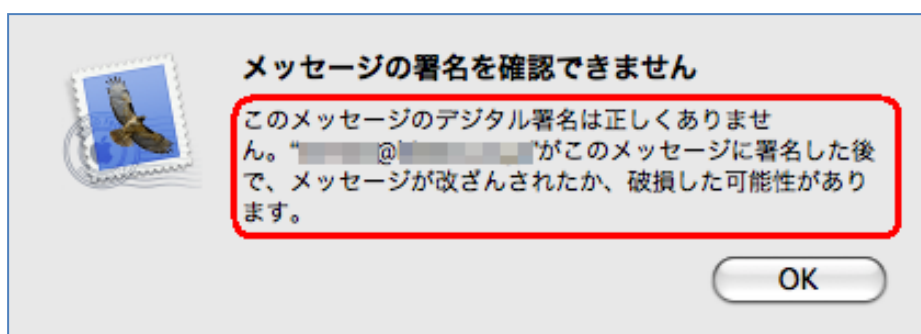
- 証明書を検証出来ない場合、「詳細情報を表示」ボタンを押すと、「メッセージの署名が確認できません」と表示され、証明書の真正性が確認できないことが表示される。



- S/MIME で署名されたメッセージが改ざんされている場合
メール本文の最上部に、「メッセージの署名を確認できません」と表示される。



- メッセージが改ざんされている場合、「詳細情報を表示」ボタンを押すと、「メッセージの署名が確認できません」と表示され、デジタル署名が正しくないことが表示される。

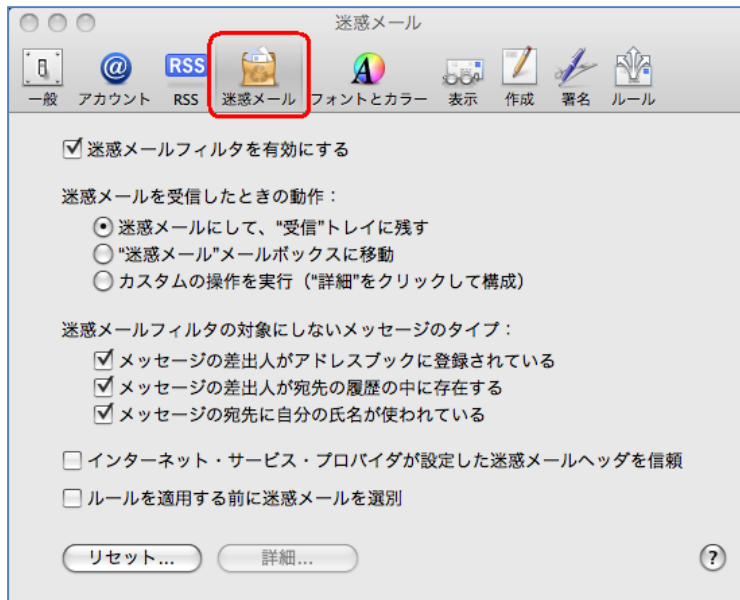


PGP 対応

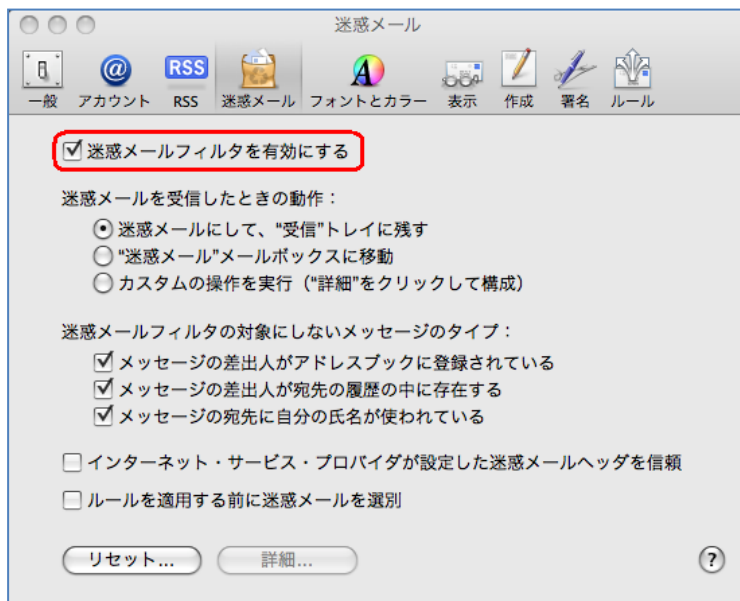
Apple Mail.app は、標準で PGP をサポートしていません。

迷惑メールフィルタの設定

- 「環境設定」ウィンドウを開き、「迷惑メール」を選択する。

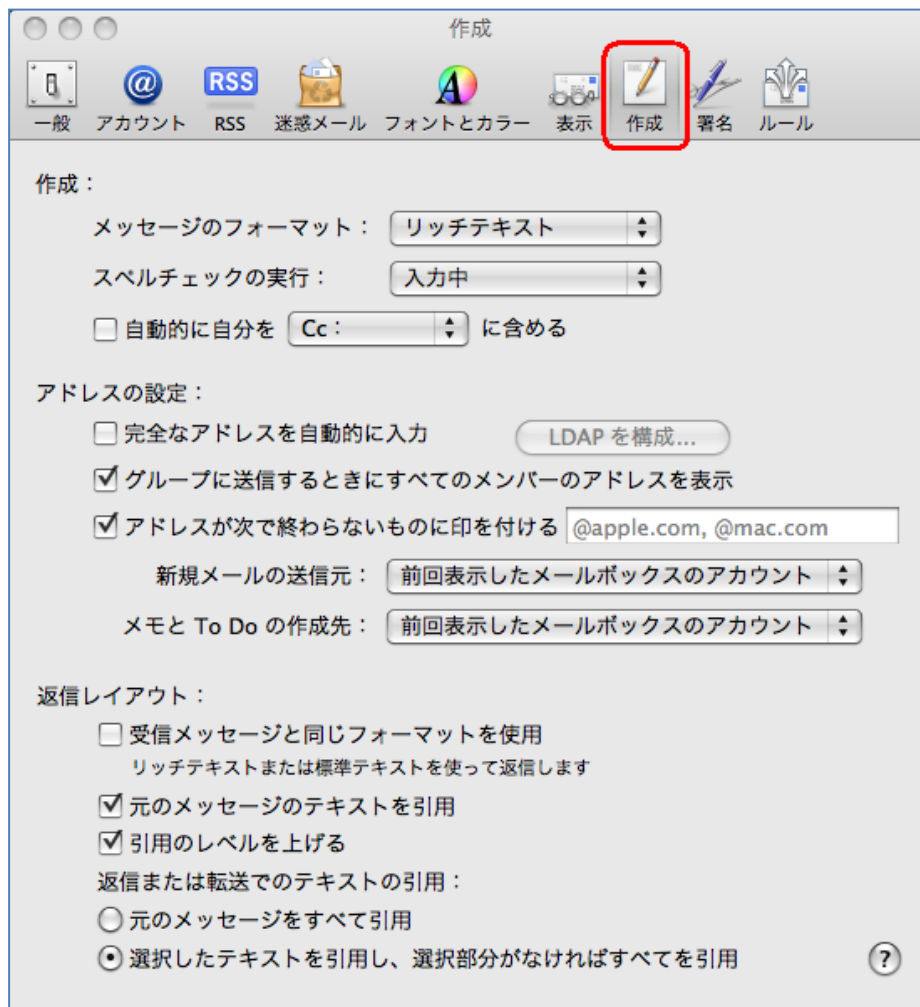


- 「迷惑メールフィルタを有効にする」がチェックされていることを確認する。
※なお、本稿では触れませんが、「迷惑メールを受信したときの動作」で「カスタムの操作を実行」にチェックすると、「詳細ボタン」から迷惑メールに関する動作を細かく設定することができます。

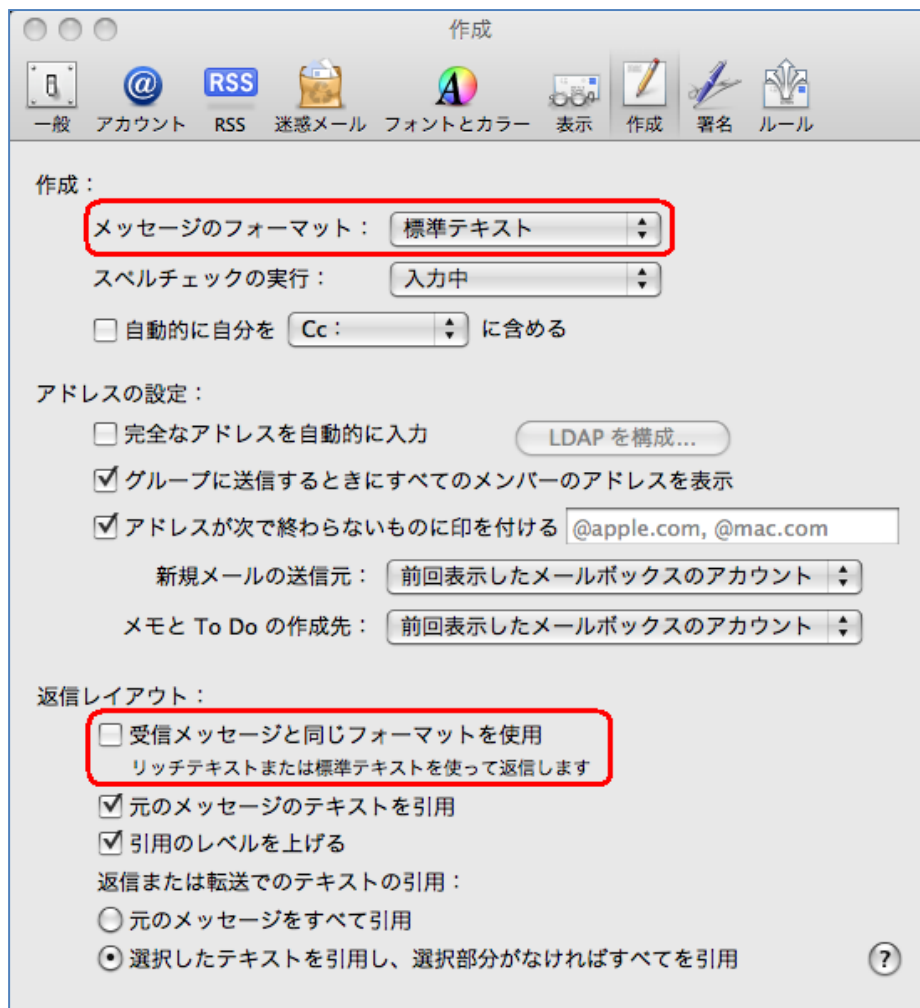


メール送信フォーマットに関する設定

- 「環境設定」ウインドウを開き、「作成」を選択する。

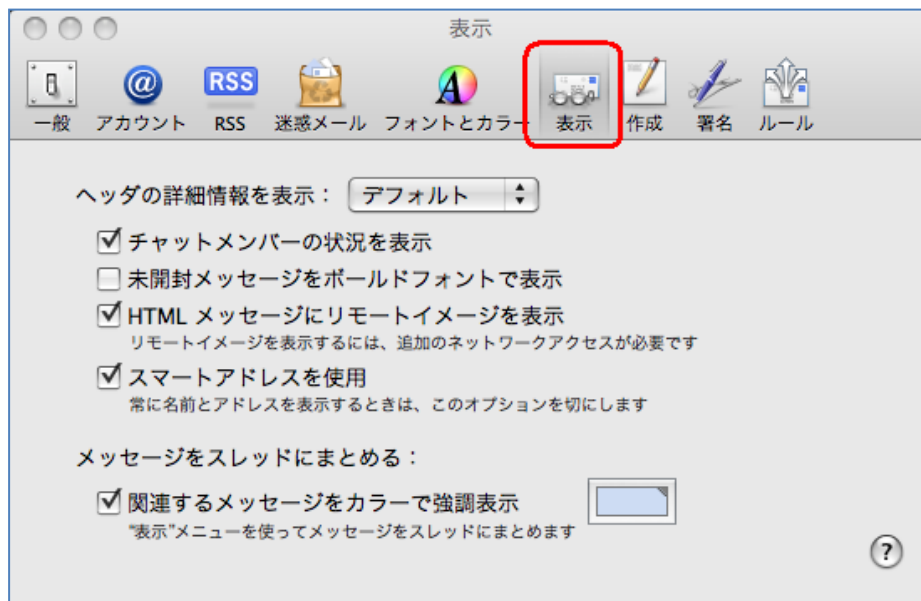


- 「メッセージのフォーマット」プルダウンメニューから「標準テキスト」を選択し、「送信レイアウト」内の「受信メッセージと同じフォーマットを使用」のチェックを外す。

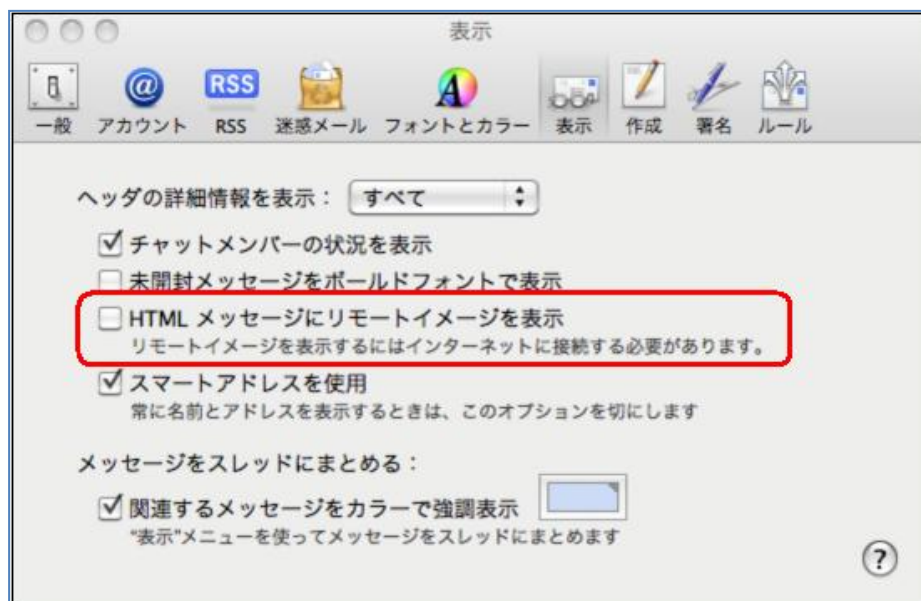


HTMLメールの表示に関する設定

- 「環境設定」ウインドウを開き、「表示」を選択する。



- 「HTMLメッセージにリモートイメージを表示」のチェックを外す。



開封確認機能に関する設定

Apple Mail.app は、開封確認機能を持っていないため、設定はありません。